

詳しくはこちらを↓↓
<http://mizbering.jp/>



～ ミズベリング、はじめよう。 ～

平成 26 年 3 月

ミズベリング・プロジェクト事務局

■水辺の課題

①かつて・・・



江戸期の日本橋川-1

賑わい、
まちとの融合



江戸期の日本橋川-2

②近年・・・



→建物が河川から背を向けている



→水辺に近づけず、まちと切り離された
空間となっている。

③最近・・・



水辺の活用
オープンカフェ



→都市の威容を備え、河畔空間が整備されるも、
水辺にかつての賑わいはみられない。

④これから！



■背景・目的

①かつて

- ・川には大小の船が数多く行き交い、その賑わいは浮世絵などでも伺えるほど。
- ・人と暮らしの賑わいが水辺と共に繁栄。

②近年

- ・水害から守る、高度成長のための水利用という目的のため、川は別もの扱い。
- ・堤防は大きなコンクリート壁を設け、川に背を向けたまちづくり。

③最近

- ・河川法改正により「河川環境の整備と保全」という目的の追加。
- ・まちの景観、歴史、文化に配慮した「かわまちづくり支援制度」の創設。
- ・河川敷地占用許可準則の改正により、営利目的の民間利用も可能に。

実態

- ・背を向けていた「まち」が水辺整備やオープンカフェの進出により賑わいを取り戻しつつある。
- ・一方で、まちの景観、歴史、文化に合わない川づくり、人に活用されない川づくりも。
- ・関係者の連携不足、許可等の規制緩和も周知不足のため、まちと一体となった川づくりが停滞気味。

水辺とまちの未来創造プロジェクト

全国の
水辺自慢写真集の
取組

各種
プロモーションの
実施

プロジェクト推進のための
「きっかけワード」みたいなものが・・・

- 水辺を「つくる」だけではなく「育てる」ための3つのコンセプト
 - ①まちにある川や水辺空間の賢い利用
 - ②民間企業等の民間活力の積極的な参画
 - ③市民や企業を巻き込んだソーシャルデザイン

水辺とまちの
ソーシャルデザイン
懇談会

モデル
プロジェクトの推進

MIZBERING
ミズベリング

■ミズベリング・プロジェクトとは（用語）

ミズベリング・プロジェクトとは、



- かつて、川には大小の船が数多く行き交い、水辺の賑わいは浮世絵などでも伺えるほどで、人と暮らしの賑わいが水辺と共に繁栄してきました。
- 近年は、水害から守る、高度成長のための水利用という目的のため、川は別もの扱いされ、堤防は大きなコンクリート壁を設け、川に背を向けたまちづくりが進められてきました。
- このような状況の中、河川法改正により「河川環境の整備と保全」という目的が追加され、多自然川づくり基本指針により「まちの景観、歴史、文化に配慮した川づくり」の取組が規定された。
- また、「かわまちづくり支援制度」の創設や河川敷地占用許可準則の改正により、良好なまちと水辺が融合した空間が形成され、背を向けていた「まち」が賑わいを取り戻しつつある。
- その一方で、まちの景観、歴史、文化に合わない川づくり、人に活用されない川づくりも未だある。
- 企業・市民・行政間の連携不足や許可等の規制緩和も周知不足のため、まちと一体となった川づくりが停滞気味となっている。
- そこで、この国の「水辺とまち」に対する社会的関心を高め、市民・企業・行政が三位一体となり水辺をソーシャルデザインし、かつての水辺の賑わいを取り戻すために、ミズベリング・プロジェクトを起ち上げるものである。

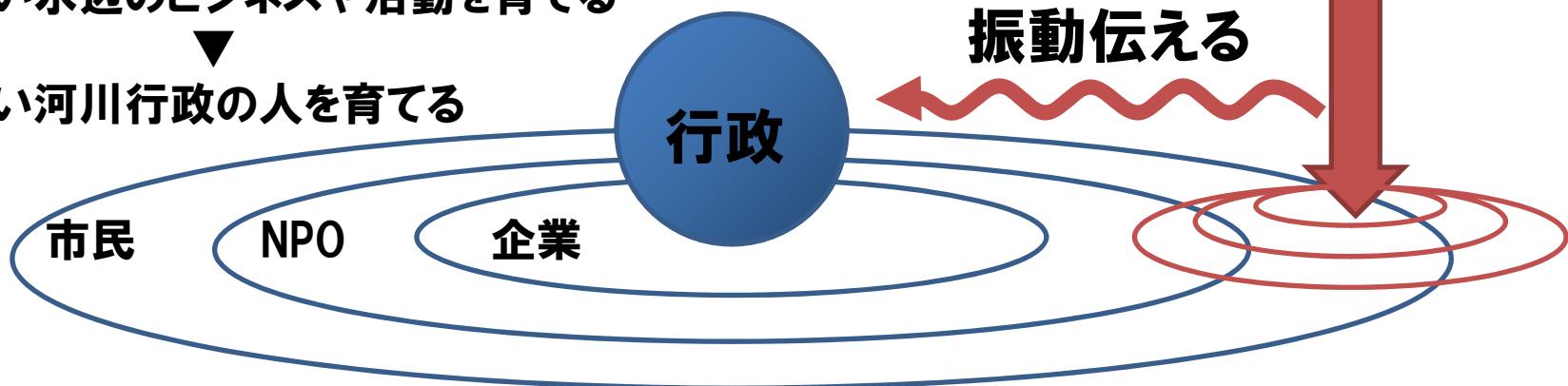
ミズベリング（MIZBERING）とは、

- 「水辺+RING（リング・輪）」の造語であり、「水辺+R（リノベーション・再生）+ING（進行形）」の造語もある。
- すなわち、水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体（輪）となして、その輪が各地域、各機関に広がり、また大きな輪となすことを意味している。
- また、かつての水辺の賑わいを取り戻すべく（再生）、多くの人を巻き込み、語り合い、水辺とまちが一体となった美しい景観を創造し続けるためのムーブメントをここから起こす（進行形）ことを意味する。

■ミズベリング・プロジェクトとは（概念図①）

外から中に作戦

- ・水辺に新しい関心を集める
- ・水辺に新しいアイデアを育てる
- ・新しい水辺の関係を作る
- ・新しい水辺のビジネスや活動を育てる
- ・新しい河川行政の人を育てる



ここから始める (私が始める)

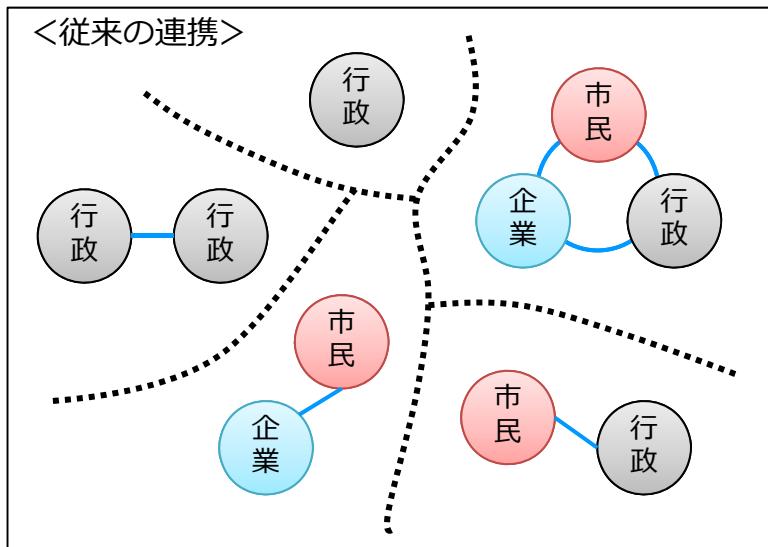
- ・水辺を楽しむ人
- ・水辺で街を変える人
- ・水辺で新しいビジネスを作る人 を増やす

■ミズベリング・プロジェクトとは（概念図②）

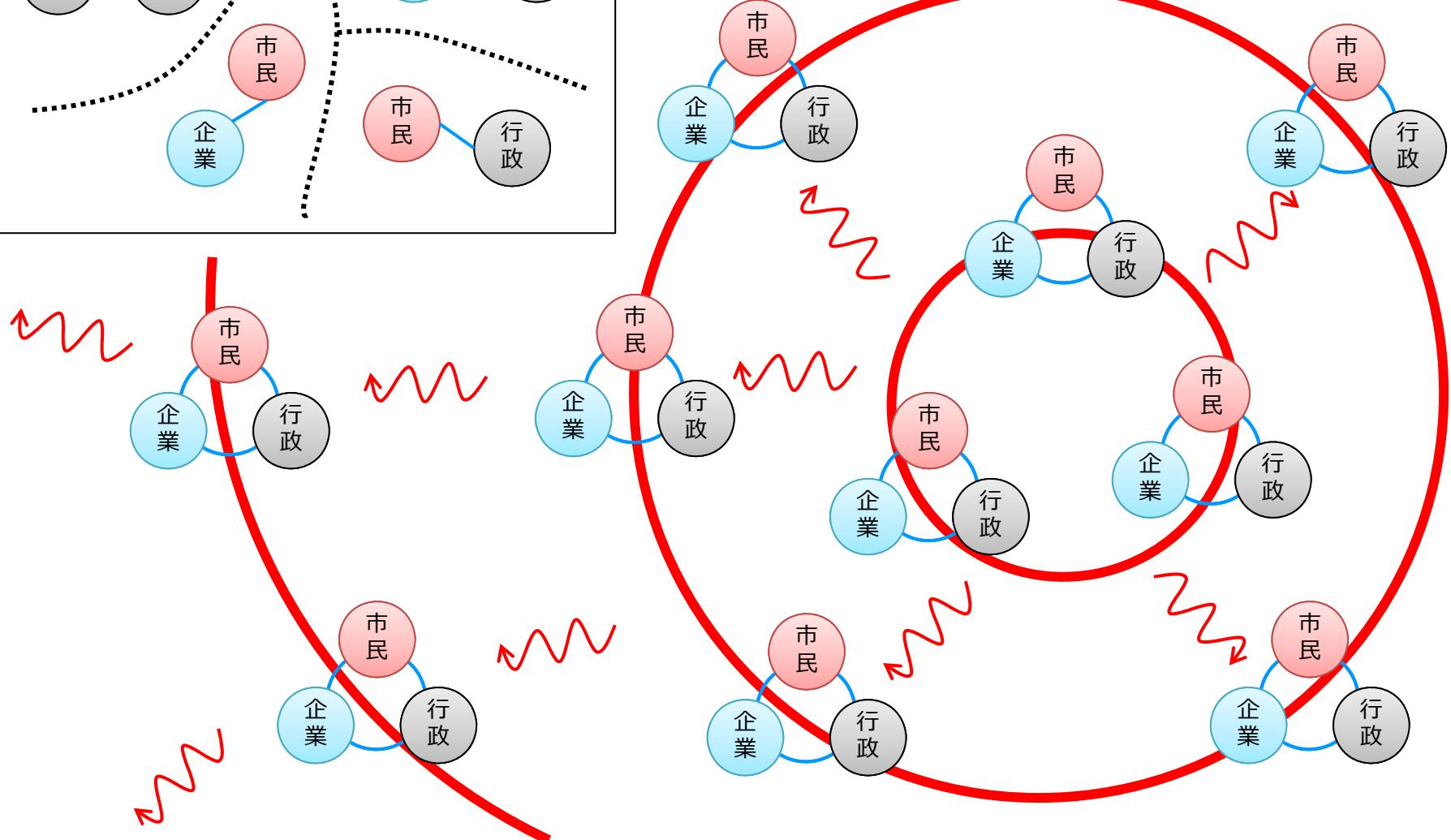
5



MIZBERING
ミズベリング



〈ミズベリング・プロジェクトが目指す連携〉
(輪・進行形)



■ミズベリング『5つのアクション』

6

1

つなごう

「水辺の未来」を考える人が
つながれば、大きなムーブメントが
始まるはずだ。

2

かたろう

「水辺の可能性」をみんなで掘れば、
思いも寄らないアイデアが
浮かぶはずだ。

3

ためそう

「水辺でのチャレンジ」が増えていけば、
世の中はもっと水辺に
注目するはずだ。

4

つくろう

「水辺を通した街づくり」が進めば、
日本の街は世界がうらやむ街に
なるはずだ。

5

育てよう

「水辺での暮らし」をみんなで
育てていけば、人生はもっと
豊かになるはずだ。

■ミズベリング・プロジェクトの取組

＜水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会＞
いろんな方のいろんな水辺の思いを聞いて
これからの水辺を考えよう～。



第1回懇談会を
船内で開催



日本テレビnews everyより

＜全国の水辺自慢写真集の取組＞
その川の川らしさを再発見して自慢しよう～。



ここから水辺の未来が動き出す
ミズベリング
東京会議
Open & Creative Meeting
すみだリバーサイドホール
2014.3.22 16:00～

＜ミズベリング東京会議＞
水辺に興味がある人々が集う。
自分の水辺を見つめ直す機会として。

■ミズベリング・プロジェクトのその他の取組（案）

ミズベリング・プロジェクトは

水辺のイノベーションが次々と生まれる
新しいソーシャルデザイン計画

街頭サイン



ニュース
づくり



MIZBERING
ミズベリング

イベント



WEB
(来年以降マガジン化)



Concept
Paper
(来期季刊化)

Concept
Movie

賛同者・賛同社



実験的
建物の創造



ワークショップ



懇親会

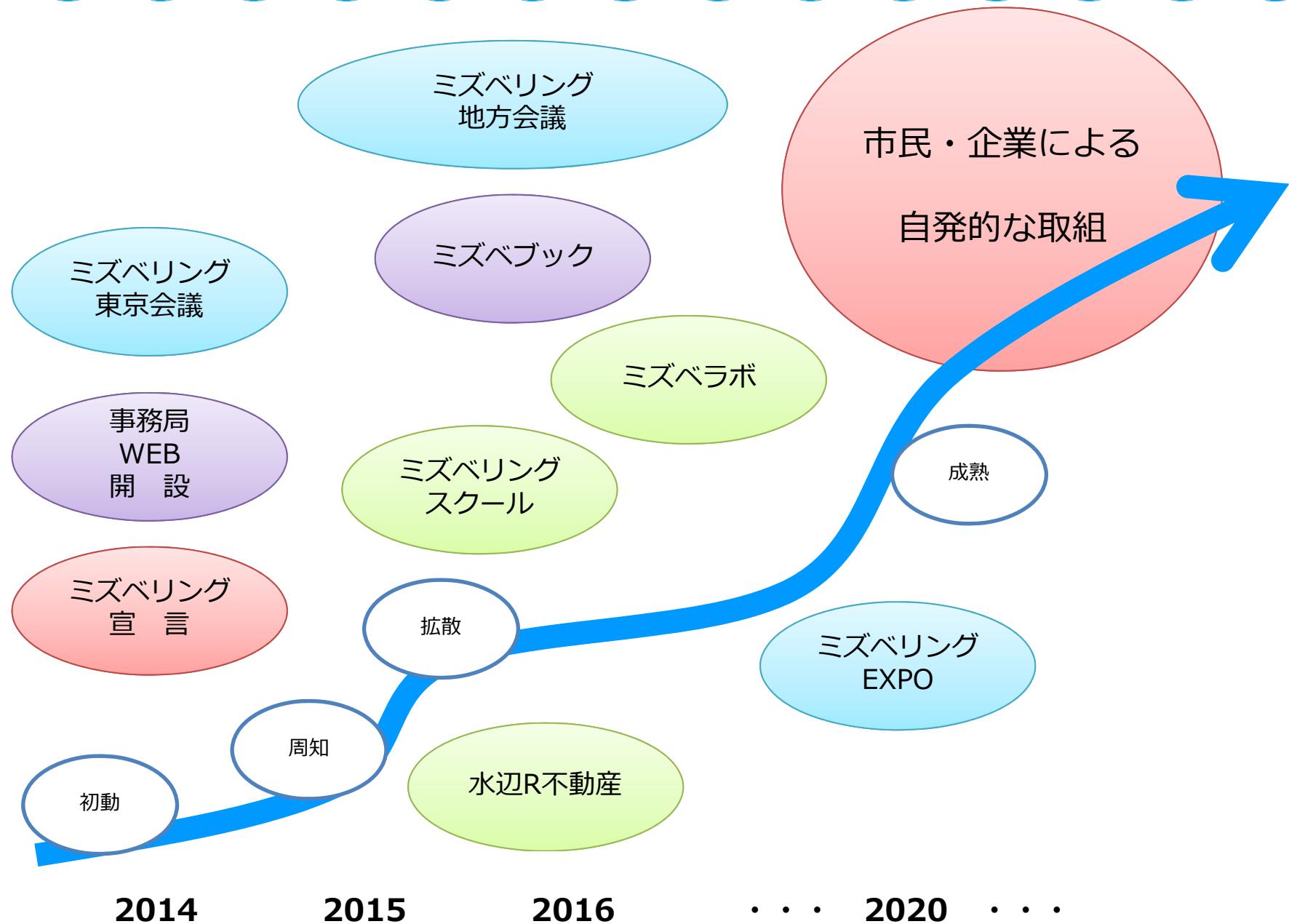


メッセージ
ブック

新しい都市再生
プロジェクトでもあ

■ミズベリング・プロジェクトの当面の展開（案）

9



■ミズベリング・プロジェクトの当面の展開（案）の具体例①

事務局の開設



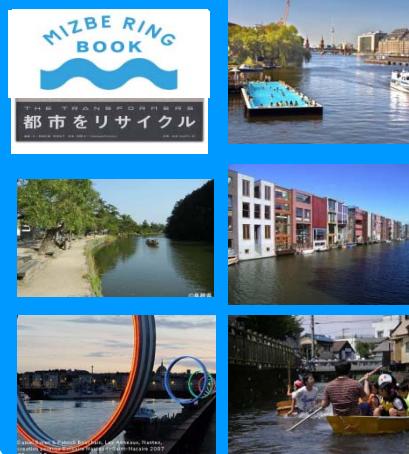
- ・ミズベリングの輪を広げていく実行部隊。
- ・市民、企業、行政が構成メンバー。
- ・ミズベリング・プロジェクトの情報を発信・拡散していくハブとして活動する。

WEBの開設



- ・情報は発信・拡散するための一つとしてオフィシャルサイトを開設。
- ・水辺を楽しむ人たちなどのたまり場となるよう様々な情報を掲載。

ミズベブック



- ・日本をはじめ世界の魅力的な水辺事例を取りそろえ、市民がワクワクするような本を作成する。
- ・紹介事例の経緯やノウハウなども掲載し、ミズベリングの営業ツールとして活用する。

水辺R不動産



- ・魅力的な物件や土地を魅力的に発信し、水辺の所有者、事業者とその利用者をつなぐ。
- ・それにより、水辺の価値を高めたり、水辺への投資を誘発することを目指す。

■ミズベリング・プロジェクトの当面の展開（案）の具体例②

11

ミズベリングスクール

- ・自治体・企業・市民など、水辺の新たな担い手を生むためのスクール。
- ・法制度、プロジェクトの進め方、ファイナンスなど、実践的な事業ノウハウを学ぶ場。



ミズベリング地方会議



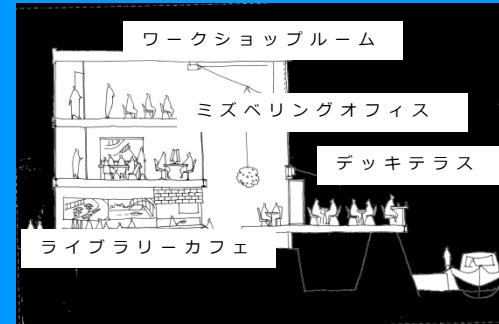
- ・ミズベリング東京会議を地方に。
- ・ワークショップやシンポジウムにより開催し、ミズベリングの輪を全国に広げるアクション。

ミズベリングEXPO

- ・2020東京オリンピック・パラリンピックに合わせて世界へ向けて日本の水辺文化を発信。世界中の皆さまを日本のMIZBEでお・も・て・な・し。



ミズベラボ



- ・カフェやレクチャーなど、水辺へ気軽に訪れることができ、様々な情報を交換する拠点を民間主導による整備、展開。

■参考) 河川環境整備に係る主な事業

